

<調査法ワークショップのご案内>

調査法には、大きく質的なアプローチと量的なアプローチがありますが、今回のワークショップでは、それぞれの方法を用いて学位論文を出されているお二人の先生をお招きし、ソーシャルワークにおける量的アプローチと質的アプローチによる研究の進め方についてワークショップ形式で学びます。

今回のワークショップは、調査法を習得するのみならず、その方法を用いる意義やそれぞれの「問題のとらえ方」に対する考え方を学ぶことを意図して計画されました。調査法を学ぶことを通じて、ソーシャルワークにおける様々な課題をどのようにとらえ、また明らかにしていくことができるのか学び、ソーシャルワーク研究をいかに進めていくのかということと一緒に考えていく場にしたいと考えています。

質的調査ワークショップ

時間：8月24、25、27日

場所：溪水館1階会議室

講師：笠原千絵先生（関西国際大学）

量的調査ワークショップ

時間：9月7、8日

場所：臨光館304、308

講師：山口麻衣先生（ルーテル学院大学）

参加者：同志社大学大学院 院生